

なす からすやま

No.143

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

特集 山あげ祭	2
南那須地区総合水防訓練	10
烏山高校で「烏山学」が開講	12
けんこう・消費者コラム	15
まちのわだい	16
インフォメーション	18
烏山高校の紹介・ジオパーク構想だより	20

2017

8

August

若衆の一体感(7月21~23日、山あげ祭)

450余年の伝統

日本一の移動式野外歌舞伎

あげ祭

ユネスコ無形文化遺産登録後初となる祭り
多彩な特別行事も加わり、12万人でにぎわう泉町

「烏山の山あげ行事を含む全国33件の祭礼行事が、「山・鉾・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録となつてから初めての開催となる「山あげ祭」が7月21日(金)から23日(日)にかけて烏山市街地で開かれ、昨年より2万人多い約12万人でにぎわいました。

中日の22日(土)には、ユネスコ無形文化遺産登録を記念した「全町大屋台パレード」が行われ、精緻な細工を施した絢爛豪華な大屋台が、にぎやかなお囃子の音色を響かせながら勢ぞろいし、観客を魅了しました。

また、今年は、祭りの運営体制及び観光客へのおもてなしの充実を図るため、従来までの「山あげ祭実行委員会」の組織を見直し体制を強化。5月30日(火)に山あげ祭の当番を担う全町の筆頭世話人や自治会代表者、市観光協会、JAなす南、市金融団などで構成される新たな実行委員会が発足しました。大谷範雄会長、三森文徳実行委員長の下、実行委員会の事業を円滑に推進するため、「運営部会」「企画総務部会」「祭典部会」「おもてなし部会」を設置。案内所やシャトルバス、桟敷席の運営をはじめ、祭りの日程や輪番制の維持・継承、駐車場や



山



今年の主芸題「戻橋」。



綱に太刀で腕を切り落とされた鬼女。



水辺に鬼の姿が映る小百合と名乗る女。

食の対策など、おもてなしの充実に向けた様々な企画を実施しました。
 一方で、今年の当番町「仲町」は、少子高齢化などによる若衆の人手不足という問題に直面しながらも、島崎健一筆頭世話人を中心に、自治会や地域の高校生、ボランティア、そして市金融団などの協力により、無事、山を上げることができました。
 熱く繰り広げられた3日間には、様々なドラマがありました。今月号では、そんな感動と笑顔に溢れた「山あげ祭」の様子を紹介します。

17の奉納余興を公演 主芸題は「戻橋」

今年の山あげ祭でメインの演目となった「戻橋」^{もどりばし}。見どころも満載で、特にクライマックスに正体を見破られた「鬼女」が登場する場面は迫力満点で、大勢のカメラマンがその瞬間を写真に収めようと必死にシャッターを切っていました。

「戻橋」のあらすじは次のとおりです。

…京の一条戻橋。悪鬼が出るというので人通りはない。使いを済ませた渡辺綱が通りかかると、美女に出会う。五条まで送ることになるが、橋から水面を見ると鬼女の姿。怪しく思った綱は探りを入れる。

女は扇折の娘小百合と告げ、華麗に舞を披露する。綱の名を知っていたことをなぜかと問えば、恋しく思う人の名ゆえという女。妖術で知ったであろうと綱が喝破すると、女はたちまち鬼に姿を変え、大立ち回りとなる。鬼は綱を愛宕山に連れ去ろうとするが、腕を太刀で切り落とされ逃げ去っていく…。というものです。

この演目は、前夜祭も含めた17公演のうち、12回披露されました。

笠揃や天王建… 山あげ祭がスタート

前夜祭が行われた20日(木)には、「笠揃」^{かさぞろえ}が仲町会所前で行われ、関係者があいさつをした後、ライトアップされた山を背景に常磐津の三味線や唄に合わせ、「三番叟」^{さんぼそう}と今年の主芸題「戻橋」が披露されました。

山あげ祭の本番となった21日(金)の早朝には、八雲神社から仲町十文字の御仮殿^{おかりや}にみこしを奉還する「出御」^{でぐり}が行われ、当番町の仲町若衆が威勢よくみこしを担ぎました。御仮殿に到着すると、祭りのなかでも重要な儀式と言われる「天王建」^{てんのうたて}が行われました。

その後、当番町以外の町で余興を奉納する「訪問」が2日間にわたり各町の会所前などで行われました。訪問には、世話人金棒引き、屋台、若衆などが連なって町境まで進み、筆頭世話人の口上のあと、はじめて他町に入ることが許されるとされて



祭りの様子を写真で紹介します



います。
この日は、「日野町」「鍛冶町」「泉町」で訪問が行われ、「戻橋」を披露。絢爛豪華な舞台上での舞いに大勢の地域住民や観光客が魅了されました。

ユネスコ登録を記念した パレード・快速列車にぎわう

2日目の22日(土)、早朝から再来年に当番町となる鍛冶町による「渡御」が行われ、御仮殿からみこしを担ぎ出し、各町を巡行しました。

奉納余興では前日に引き続き、「元田町」「金井町」への訪問が行われたほか、ユネスコ登録を記念して、おめでたい席で演じられるといわれる「乗合船」が披露されました。

また、22・23日の2日にかけてJR東日本により新宿駅から宝積寺駅までリゾットやまどり車両を使用した快速「烏山山あげ祭号」が運行。宝積寺駅から烏山駅までは、臨時普通列車が運行され、遠方から大勢の観光客が訪れました。烏山駅では、到着時間に合わせて小旗や横断幕を手にした市議会議員や

地域住民が乗客を出迎えました。

烏山山あげ祭号の運行に合わせ、4年ぶりとなる全町大屋台パレードも行われました。出発点となった烏山駅前には、6町の大屋台が勢ぞろい。ユネスコ登録を祝う鏡開きが6町それぞれの筆頭世話人によって行われた後、横断幕を先頭に、大屋台のほか舞台上で活躍する烏山山あげ保存会の皆さん、関係者による行列が御仮殿まで続き、その様子を一目見みようと思われ、たくさんの方で埋め尽くされました。

御仮殿前に到着すると、6町そろっての「ぶんぬき」がはじまり、お囃子や若衆らの活気と熱気で大変な盛り上がりを見せました。

雨模様の最終日

熱い3日間に幕が下りる

最終日となった23日(日)は、朝から小雨がちらつくあいにくの天候に…。ところが自町での公演のほか、山あげ会館前での特別公演には多くの観光客が詰めかけ、200席以上の桟敷席が販売を開始してすぐに完売するなど、大いににぎわいました。また、予定されていた公演以外に、烏山山あげ保存会の皆さんにより、山あげ烏章館で「乗合船」が特別に公演され、観光客を楽しませました。

夕方には、来年当番町となる泉町により御仮殿から八雲神社にみこしを戻す「還御」が行われ、深夜までみこしが



①公演前に演目を説明する若衆②笠揃で行われた「三番叟」③他町への訪問④屋台の中でお囃子を演奏する囃子方⑤踊り子が通る花道を支える若衆⑥全町大屋台パレード⑦祭り初日に嵐山の万灯みこしが繰り出す⑧迫力満点の手持ち移動⑨烏山山あげ祭号で訪れた観光客を出迎える市議や地域住民⑩雨の中の見物客⑪出御のみこしが八雲神社を出発⑫パレード前に筆頭世話人らによって行われた鏡開き⑬祝いの席で踊られる「乗合船」⑭10mもの大山を人力で上げる若衆⑮活気あふれる「ぶんぬき」⑯笠揃で披露された「関の扉」⑰渡御で御飯殿からみこしを出す鍛冶町若衆⑱還御のみこしに続き出発した子どもみこし⑲踊りに欠かせない常磐津⑳棧敷席を並べるJAなす南職員やシルバー人材センターの皆さん㉑金棒引きに先導される大屋台㉒還御で八雲神社にみこしを戻す泉町若衆㉓千秋楽での舞い㉔胴上げが行われた祭りの最後。



担がれました。みこしが出発した後は、泉町以外の5町による恒例の「ぶんぬき」が八雲神社前で繰り広げられ、大勢の観光客であふれかえりました。

そして、いよいよ山あげ祭最後の行事となる「笠拔」の公演では、雨脚が強くなったため、アラマン駐車場を会場に、「関の扉」が披露されました。終わる頃には、雨脚も弱まり、その後の「千秋楽」は、野外に場所を移動。山の前で無事に公演を終えました。

夕方から続く「還御」のみこしは、泉町若衆が八雲通りを何度も練り歩き、午前0時半頃に八雲神社にお宮入り。それと同時に、深夜まで残っていた観客からは大きな拍手が沸き起りました。

人手不足乗り越えて 地域が一つになった祭り

今年、当番町の「仲町」は、総戸数約50戸と山あげ祭の当番町6町のうち、最も少ない地域。祭り本番には、100人以上の若衆が必要となりますが、少子高齢化などの影響で人手の確保が難しくなり、前回当番町となった翌年には活動を一時休止するなど深刻な状況となりました。そんな中、仲町全体で「祭りを後世に残していこう」という意識が高まり、自治会の協力などによって活動を再開。今年に入って行われた祭りの準備も、自治会が丸となって、舞台背景となる「はるか山」の制作などを行いました。それから、はるか山への

くたくさんの笑顔あふれる山あげ祭



絵付けや、舞台装置の確認、山あげ行事の奉納芸題を全町に触れ回る奉告祭、リハーサルが順調に行われました。

祭り本番には、仲町若衆のほか、鳥山高校の生徒や帝京大学の学生、地域のボランティア、そして市金融団から約100人が協力。山を上げたり、舞台を設置したり裏方としてともに汗を流しました。

ユネスコ登録後初となる 祭りを終えて。

華やかな舞台での踊りとともに、山あげのもう一つの魅力が若衆の一糸乱れぬ動き。木頭の合図で次々と舞台装置が組み立てられ、公演中にも音と合わせた山の切り返しなど、若衆の素早い行動で祭りは支えられています。

仲町若衆の世話役を務めた島崎健一筆頭世話人は、「ユネスコに登録された後、初めてとなる記念の年に当番町として祭りを任されたことは恵まれていたと思う。人数が少ない中でつらいこともあったけれど、最後までやり抜くことができて良かった」と祭りを振り返りました。

また、仲町自治会の山内和夫会長は、「ユネスコ登録後ということもあり、プレッシャーを強く感じた。しかし、地域や関係者の皆さんの協力で千秋楽を無事迎えることができた。また次へとつなげたい」と話していました。

祭りを支えた人々

■仲町若衆

- 若衆世話人…島崎健一、山内崇、小堀直亮、阿相政敏
- 木頭…小堀直亮
- 副木頭…バーク・ウィリアム
- 舞台…生魚大行
- 御拝…棚橋一喬
- 右座敷…川合広大
- 左座敷…岡田洋明
- 波橋…佐藤陽亮
- 前山・雲…佐藤朋樹
- 御所…歌川正人
- 滝山…(主任)岡田豊実、(副主任)杉山昌弘
- 大山…(主任)新井康之、(副主任)佐藤久夫
- 金棒…島崎華乃、石川瑠菜、新井優奈、バーク真琴、大根田結希、(主任)黒川加奈子
- 音響照明…丸山美由紀
- 踊子…黒川公美子
- 絵師…佐藤大通

■鳥山山あげ保存会芸能部会

- 踊り手・鳴物…西川扇浪華、小倉由紀、薄井かおり、越雲悠琢、佐藤唯、小泉佳穂、藤田華叶、島田莉名、島田千聖、渡辺笑香、富田龍太郎、藤田太陽、黒須深心、黒須清那、齊藤大貴、手塚響介、齊藤智子
- 化粧・かつら…マサ子美容室、益子久江
- 指導・後見…西川扇士浪
- 常磐津…(賛助出演)岸澤式比呂、常磐津津栄太夫、浅見由紀、荒井栄子、荒井洋美、池田美和子、川俣純子、小口季子、齊藤弘江、須田孝子、堀江千尋、堀江みゆき、吉川和穂、高津戸愛梨、吉川和杜、長谷川岬音
- 指導…常磐津津紫摩





公開生放送に太谷市長も出演。



Hot! 山あげ ニュース

ここからは、次ページにかけて
山あげ祭に関するHot!な
ニュースを紹介します。

おもてなし広場が充実 マルシェや地域おこし団体による出店大盛況

山あげ祭で最大の課題であった
飲食や休憩スペースの不足を解消
するため、山あげ祭実行委員会では
イトスベースの拡充によるおもて
なしの充実に向けた検討が行



おしゃれな雰囲気の烏通り商店街。

われてきました。

その結果、J R烏山駅前広場や
山あげ会館周辺などでは、祭りに
訪れた観光客におもてなししよう
と、マルシェや物産展が開かれ、市
内の飲食店や企業、地域おこしに
取り組む団体などにより多彩な店
舗の出店が行われ、会場は多くの
観光客でにぎわいました。

烏山駅前広場で行われた那須烏
山商工会による「山あげ応援マル
シェ」では、市内外の飲食店など21
店舗の出店や大子町から出張出
店「奥久慈しゃも弁当」の販売が行
われたほか、子どもも楽しめるダ
ンボール迷路なども設置。山あげ
会館前で行われた観光協会による

山あげ会館前特設ステージ レディオベリー公開生放送で山あげPR

山あげ祭の3日間、山あげ会館
前特設ステージでは、様々なイベ
ントが行われました。

初日の21日(金)には、(株)エフエ
ム栃木のレディオベリー「RBS
Friday」の公開生放送が午後2時
から7時まで行われ、本市出身で
タレントの棚橋麻衣さんと佐藤望
さんがパーソナリティとして登場。

山あげ祭をPRしました。途中に
は、仲町の島崎健一筆頭世話人や
大谷範雄市長も登場したほか、山
あげの舞台の様子を現地中継した
りとリスナーへ声を届けました。

また、22日(土)、23日(日)には、市内
外で活動する様々な団体により、
歌や踊り、バンド演奏などが披露
され、会場を盛り上げました。

「ふるさと物産展」でも、飲食店な
ど20店舗の出店や、「山あげ弁当」
が限定販売されました。

また、毎年山あげ会館南側道路
で行われている烏合の手(齊藤貴広
代表)による山あげ限定カフェは、
「烏通り商店街」として規模を拡
大。市内外の地域おこし団体や飲
食店などを招き、ピザやかき氷な
どの販売、ジャズの演奏会が行わ
れました。さらに、足利銀行烏山

山あげの常磐津や踊りに尽力 常磐津津太夫さん、越雲キミエさんに感謝状

昨年12月に「烏山の山あげ行事」
がユネスコ無形文化遺産に登録さ
れたことに際し、踊りや常磐津に
永年尽力された常磐津津太夫さん
と越雲キミエさんに烏山山あげ保
存会の島崎利雄会長から感謝状が
贈られました。

常磐津津太夫さんは、国重要無
形文化財常磐津節保持者であり、
旭日双光章を受章され、現在も常
磐津相談役として山あげに深く関
わっています。越雲さんは、踊りや
化粧、着付、床山など山あげには欠
かせない歌舞伎舞踊全般の発展に
尽力されてきました。特に、「演旦」蛇
姫様は、今から約30年前に作詞が
越雲さん、作曲は常磐津津太夫さ
んによって作られ、現在も山あげ

支店とアラマン駐車場を会場と
した「仲町広場」では、J Aなす南
女性部・青年部による出店のほか、
キッチンカーなど飲食スペースが
設けられ、地域住民や観光客でに
ぎわいました。

そのほか、市内の飲食店や企業
では、それぞれの店舗などを利用し、
お休みどころやビアガーデンなど
も同時に開かれ、地域一体による
おもてなしの充実が図られました。

の奉納余興として舞台上で披露さ
れています。

2人を代表し、常磐津津太夫さ
んは、「ユネスコ無形文化遺産と
なった今、これからが肝心。祭り
から一つの芸術品として仕上げて
いかなければいけないと思う。陰
ながら応援しています」と笑顔で
エールを送りました。



感謝状が贈られた贈呈式。

鳥山高校の生徒が祭りに協力

若衆、観光案内のボランティアで活躍

山あげ祭が開催された3日間、鳥山高校の生徒が若衆や観光案内などのボランティアとして活躍しました。

鳥山高校の生徒が個人的に山あげ行事に参加することはこれまでもありましたが、若衆の人手不足やユネスコ無形文化遺産に登録され、観光客の増加が見込まれることから、「地元唯一の高校が地域のためにできることをやろう」と、学校として初めてボランティアを募集しました。1～3年生の生徒9人が若衆として山を上げるなど、舞台裏で活躍を見せました。

また、同高まちづくり研究会では、活動拠点となるブースを山あげ会館前に開設。同研究会や有志の生徒12人が参加し、外国人観光客に向けて英語や中国語の指さし会話シートを配布したほか、公演場所の案内を行いました。

JR東日本が企画したツアーでは、どうくつ酒蔵で行われた宝さがしゲームに、郷土芸能研究会の生徒8人が協力したほか、商工会を会場に行われていた「鳥山燦陶会展」では、茶華道部の生徒18人がお茶会の席を担当し、観光客へ振る舞いました。

さらに期間中には、陸上部、サッカー部、野球部の生徒29人が山あげ会館などの案内所で観光客に対し、山あげ祭のうちわを配るなどPR活動をしました。

帝京大の学生や金融機関職員も若衆を体験

若衆として、地元の高校生が活躍する一方で、ゼミ活動の一環として帝京大学の地域経済学科の2年生11人をはじめ、鳥山信用金庫や足利銀行、栃木銀行の行員、そして市の職員も参加しました。



若衆を体験する生徒。

市雇用創造協議会がレシピを考案！ 特産品を使用した「山あげ弁当」を販売

7月22日(土)、23日(日)、山あげ会館とJR鳥山駅前で「山あげ弁当」が限定1000個販売されました。

この弁当は、市雇用創造協議会



数量限定で販売された山あげ弁当。

JAなす南が鳥山山あげ保存会に 祭り応援で19万3千円を寄附

6月29日(木)、JAなす南本店で山あげ祭定期貯金の寄付金贈呈式が行われ、JAなす南から鳥山山あげ保存会に、「山あげ祭定期貯金」の預入総額の0.05%にあたる19万3000円が寄附されました。

この定期貯金は、同JAが地域活性化に貢献するために行ったもので、今年2月1日(水)～5月31日(水)の間に312口、3億8500万円が預入されました。

同JAの山田清代表理事組合長から目録を受け取った鳥山山あげ保存会の島崎利雄会長は、「ユネスコ無形文化遺産登録決定を記念して形に残るものとして活用していきたい」と話していました。

が事業の一環として、JR東日本大宮支社の協力のもと、本市をイメージした弁当のレシピを考案。駅弁の製造・販売を手掛ける(有)松廻屋がレシピに基づき「山あげ弁当」を製造しました。

弁当の掛け紙には、故斉藤英夫

鳥信発祥の建物で山あげ祭の写真44点を展示 なかには124年前の貴重な写真も

現在の鳥山信用金庫の前身となる鳥山信用組合の事務所として使用されていた築100年の建物(中央交差点付近)で祭りの3日間、山あげ祭の写真展示が初めて行われました。

氏作の版画絵(仲町)と歴代山あげ祭ポスターを使用した2種類を準備。自身は、「前山」「中山」「大山」をイメージした稲荷寿司とおむすびの3つのほか、特産品の「中山かぼちゃ」を使用した「中山かぼちゃ羊羹」、「からす大根」の甘酢漬、そして「カレーコロッケ」が詰められており、弁当を買いたい求める観光客でにぎわいました。

この建物は昭和20年の終戦後の厳しい経済環境とインフレの中で、旧鳥山町に数少なかった金融機関を充実させようと、鳥山信用金庫理事長東原民範さんの先代理事長の故東原清一さん当時鳥山町議会議長

NPO法人クロスアクション オリジナル黒ビール、手ぬぐいで地域をPR



黒ビールを販売するスタッフ。

NPO法人クロスアクション(高橋誠一代表)は、本市をPRしようと、祭り期間中に市や八溝地域をイメージしたオリジナルの黒ビールや手ぬぐいなどを販売しました。黒ビールは、茨城県大子町の専門業者に製造を依頼。本市の地名にある「カラス」の色にちなんで黒ビールを発案。ビールを提供するカップには、カラスや八溝山系を描いたオリジナルラベルも作製しました。手ぬぐいは、市観光協会

の職員が考案したもの。JR烏山駅前に掲げられている看板のデザインで、にぎわう山あげ祭の様子が描かれています。

また、期間中には、本市で採れた梅を使った「梅ソーダ」などが販売されたほか、同団体が活動スペースとしている同駅前の「ぶらっと」を休憩所や授乳室として開放しました。

高橋代表は、「今後、ビールや手ぬぐいはイベントなどで販売する予定。観光客にお土産として手にとってもらう商品の開発や、観光交流が盛んな地域づくりに協力したい」と話していました。

本市と那珂川町が舞台の映画 山あげ期間中に完成報告会として上映

本市と那珂川町を中心に撮影された映画「翼の生えた虎」が、7月22日(土)、23日(日)、烏山公民館で完成報告会として上映されました。

出身で、慶応大学卒業後に映画の自主制作に取り組み、「西東京映画祭シネマ倶楽部特別賞」などを受賞しています。

映画は、江戸時代から続く小砂焼の窯元の家に生まれた主人公が親の反対を押し切り、冒険作家を目指し上京するが、結果が出ずに故郷に戻るといふ物語。那珂川などの美しい自然を舞台に、人との出会いを通して成長する物語です。

今回、市のチャレンジプロジェクト事業にも採択され、昨年7月から撮影を開始。市町民約50人が出演しているほか、「境橋」や「龍門の滝」といった観光スポットや、山あげ祭の場面なども登場します。2日間の上映会には、地域住民や観光客など大勢の人々が来場。監督の富田航さんは、神奈川県



上映後の舞台挨拶。

舞台挨拶も行われました。富田さんは、「初めての長編映画を大自然の中で、地域の人々と一緒に作れたことは嬉しい」と話していました。



写真を見物する観光客ら。

祭り会場となるまちなかをきれいに！ 子どもから大人まで清掃活動に協力

山あげ祭などで本市を訪れる観光客へのおもてなしの一環として、7月22日(土)から24日(月)にかけて、山あげ祭の会場となる山あげ会館やJR烏山駅前を中心に、ゴミ拾いなどの早朝清掃が行われました。

清掃活動には、本市で活動するサッカーチーム「FCバジエルボ」や、シルバード大学OB、そして地域おこしなどに取り組む団体から約110人が参加し、午前6時から約1時間かけてごみを拾いながらまちなかを巡回しました。

また、祭りを前に19日(水)には、県烏山土木事務所と市、県建設業協会烏山支部が共催となり、今年で5回目となる「山あげ祭応援クリー

が大蔵省から烏山信用組合設立の許可を受け、昭和23年11月15日から営業を開始し、昭和25年まで事務所として使用していたものです。昭和27年6月には、烏山信用金庫に改組され、まさに現在の烏山信用金庫の基礎を築いた建物となっています。展示された写真は、「仲町」のもので、古いものだとして124年前となる明治26年の写真も。仲町の住民などに声をかけ、44枚の写真が集められ展示されました。

ン作戦が行われ、約120人が参加しました。祭りで屋台が練り歩く道路のごみ拾いや歩道の除草など約2時間かけて行われました。



清掃活動に取り組む子どもたち。

ふれあいじんけんフォーラム

人権の正しい理解と知識深める

人権に対する正しい理解と認識を深め、地域で人権教育を推進していく指導者の養成と資質の向上を図ることを目的に、「ふれあいじんけんフォーラム」(県教育委員会



人権について理解を深める参加者。

事務局塩谷南那須教育事務所主催」が、6月27日(火)、烏山公民館で開かれ、塩谷南那須地区の教職員や地域住民など239人が人権についての知識を深めました。

当日は、開会式が行われた後、昨年度「栃木県教育委員会人権に関する作文コンクール」に入賞した高根沢町立阿久津中学校3年の太田奈々さんの作品「出会いから学ぶ」の発表や、「とちぎの高校生人権映像作品コンクール」に入賞した鹿沼東高校放送部の作品「となり」が上映されました。

また、人権講演として、やつぱ愛ダホ！(adaho)代表の遠藤まめたさんを講師に招き、「大人には見えにくいLGBT／性的マイノリティ



講師の遠藤さん。

の子どもたち」と題した講演が行われました。遠藤さんは、出生時の性別が女性で、男性の自認を持つているいわゆるF T Mトランスジェンダー。自らの経験談を交えながら子どもたちを取り巻く性別問題の現状や、大人がどう受け入れていくべきかなどを参加者に訴えかけました。

ふるさと烏山会 総会で近況報告



近況報告が行われた総会。

ふるさと烏山会(小清水日出夫会長)による総会が、7月2日(日)、東京都のK K Rホテル東京で開催され、市から田代和義教育長、久保居光一郎市議会副議長、佐藤邦行観光協会長、J Aなす南山田清代表理事組合長が出席し、市の近況を報告しました。

同会は、旧烏山町出身者が、会員同士の親睦を図りつつ、ふるさと

の発展に寄与することを目的に昭和63年に発足し、活動が続けています。現在の会員は74人で、総会には20人が参加しました。

大災害を想定した

南那須地区総合水防訓練

連携強め非常時に備える

台風などの水害に備え、那須烏山市と那珂川町などによる「南那須地区総合水防訓練」が7月2日(日)、大桶運動公園で行われ、大谷範雄市長や福島泰夫町長をはじめ、両市町、消防、警察、各種団体など約1千人が参加し、連携を強めました。

この訓練に先立ち、市消防団(興野一美団長の夏季点検が同日開かれ、正副団長、消防団8分団39部、女性消防団、2つの中学校の少年消防隊から492人参加しました。

この点検は、非常時に備え、いつでも出動できる万全の体制を整えるため、

財産を守ってほしい」と講評しました。



①倒木などを除去するためのチェーンソー操作を確認する消防団 ②大桶上自主防災組織による炊き出し ③被害を確認する広域災害対策本部 ④災害ボランティアセンターの設置訓練 ⑤炊き出しの準備をする日赤地域奉仕団 ⑥県消防防災ヘリ「おおり」による救出訓練。

数決壊し、道路や橋、ライフラインなどに甚大な被害が発生したことを想定。大谷市長を本部長に広域災害対策本部を設置し、現場の対応について指示を出しました。

訓練では、消防署員の指導のもと、両市町の消防団が土のう積みや倒木などを除去するためのチェーンソー操作、ロープ結索の訓練を行ったほか、社会福祉協議会による災害ボランティアセンターの設置訓練、日赤地域奉仕団や大桶上自主防災組織による炊き出し訓練などを実施。県消防防災ヘリ「おおり」による救出訓練も行われました。

訓練後、大谷市長は「災害はいつ起きるかわからない。この訓練を機にさらに自己研さんに励み、地域住民の生命



毎年、台風などの自然災害が多発する前に開かれているものです。

当日は、服装や機械器具の点検などが行われ、防災意識を高めました。

地域課題を考える

烏山高校で「烏山学」開講

7月12日(水)、烏山高校で那須烏山を考える地域学習「烏山学」の開講式が行われ、同校の全校生徒544人が参加しました。

烏山学とは、J R 烏山線沿線まちづくり推進事業の一環として、



烏山高校の烏山学開講式。

市と烏山高校が連携し、将来、地域社会で活躍するリーダーを育成することを目的に今年から行われるものです。今年度は、1年生約180人が対象となり、「那須烏山を知る」「那須烏山で育てる」「那須烏山で働く」などをテーマに、築城600年を迎える烏山城の歴史や、地域の子育て、地域医療の現状など14プログラムから生徒一人ひとりが一つを選択し、10月から地域の団体や企業などの協力を得て体験活動などを行います。

開講式では、坂本浩之校長が「様々な視点から理解を深め、課題を発見し、その解決策を考えてほしい」とあいさつ。講演した大谷範雄市長は、人口減少の課題などを説明し、「将来、那須烏山市を背負って立つ人材が育ってほしい」と述べました。また、烏山山あげ保存会の島崎利雄会長から山あげ祭と烏山の山あげ行事の違いや山あげの歴史などが紹介されました。

1年の根本颯さん(向世)は、「地元においても意外と知らないことが多いので、伝統や文化を学びたい。また、山あげの人手不足の問題を知って高校生が積極的に参加していくべきだと思った」と話していました。

生の声を聞いてみよう！まちづくりって何だろう講座

公民館講座「まちづくりって何だろう」が7月19日(水)に南那須公民館で開かれ、地域住民20人が参加しました。

2回目となった今回の講座では、地域の民話を語り継ぐ「烏山語りの会」と、子育て支援などを行う「子育て支援倶楽部風鈴」の代表者を招き、活動をはじめたきっかけや、どんな思いで活動しているのかなど活動に対する熱い思いが語られました。また、参加者から

は様々な質問も飛び交い、まちづくりについて考える機会となりました。講座の最後には、語りの会による民話も披露され、わきあいあいとした雰囲気包まれていました。

今後、同講座では、昨年本市にやってきた地域おこし協力隊の3人や、平成27年度に新たにできたまちづくり課の職員を招き、まちづくりに対する思いを発表してもらう予定です。

活動に対する思いを語る。



B&G 海洋性スポーツ普及大会 荒川でカヌーの試乗体験

市教育委員会では、毎年、海の日に合わせて、海洋性レクリエーションの普及と海や水辺の環境を守るためのクリーンキャンペーンとして「B&G 海洋性スポーツ普及大会」を開いています。

今年度は、7月17日(月・祝)に荒川河川敷で開かれ、親子連れ約20人が、河川敷周辺のごみ拾いやカヌー

の乗艇に挑戦しました。

カヌーの試乗体験では、ライフジャケットを着着した参加者が、インストラクターにパドルの使い方などを教わり川へ繰り出しました。中には毎年参加している子どもたちもいて、上手にパドルを漕ぐ姿が見られました。



カヌーの乗艇に挑戦する子どもたち。

今年度から保健福祉センターで「5歳児相談」がはじまりました。

いきいきサロン・ふれあいの里交流会

市では、健康講話や軽体操、レクリエーションをとおして、介護や閉じこもりの予防を図るために、それぞれの地域の公民館など、40か所で「いきいきサロン」、11か所で「ふれあいの里」を開いています。昨年まで「いきいきサロン交流会」として、各地で開かれていたサロン参加者を年に1度募り交流を図っていましたが、今年から、ふれあいの里利用者と交流の輪を広げようと初めて合同の「いきいきサロン・ふれあいの里交流会」が2

か所で行われました。

6月22日(木)には烏山体育館で烏山区、29日(木)には南那須公民館で南那須地区の交流会が開かれ、それぞれの利用者、サロンを運営するサポーターなど241人が参加しました。

交流会では、いきいきサロンサポーターの指導により、市民の歌に合わせたオリジナルの体操やレクリエーション、合唱を行うなど、ふれあいの里利用者と交流の輪を広げようと初めて合同の「いきいきサロン・ふれあいの里交流会」が2



オリジナルの体操で体を動かす参加者。

市では、今年4月から毎月第4水曜日に保健福祉センターで「5歳児相談」を開いています。

この相談は、就学までの期間のできるだけ早い時期に支援の必要な子どもに対して適切な療育の提供や保護者への支援をするために行っているものです。

例年、市の保健師などが年に1回、市内の各幼稚園・保育園を訪問して行っていますが、生まれた月齢の違いで発達状況が異なることから、今年度から5歳を迎える月ごとにも行うこととな

りました。

5歳児相談では、こども発達支援センターくれよんクラブの保育士により、遊びをとおした親子の関わり方の支援などが行われ、希望者には個別で相談なども行っています。



平成29年度 コミュニティ助成事業報告

財団法人自治総合センターの平成29年度コミュニティ助成事業(宝くじの助成を活用し、大桶上自治会では、盆太鼓・台座、はんでん70枚を新調しました。

■まちづくり課 ☎0287-83-1151



JR烏山線小埴駅周辺で ひまわりが見頃を迎えています！

7月下旬頃から、JR烏山線小埴駅周辺のひまわりが咲き始め、アキュムに乗って訪れた観光客や地域住民を楽しませています。

このひまわりは、市の花公園構想事業の一環として、農事組合法人ファームあらなん(小浜克巳代表)が、休耕田を利用し植栽したもの。広さ約2万平方メートルには、約20万本のひまわりが咲く予定です。見頃は、8月中旬頃まで続きます。



ひまわり写真コンテスト開催！

JR烏山線小埴駅周辺の「ひまわり」と蓄電池電車「アキュム」が調和している景色の写真を募集します。

■募集内容 今年撮影したもので、「ひまわり」と「アキュム」が一緒に写っているもの。A4サイズのカラー写真(用紙は光沢紙で額縁不要)1人2点まで。(写真の返却は不可)

■応募期間 8月31日(木)までに写真と申込書(各庁舎玄関ホール備付)を下記あて郵送または直接持参する。

※郵送の場合は8月31日(木)必着。

※申込書は市ホームページからもダウンロードできます。

■写真展・審査 応募いただいた写真は、南那須庁舎玄関ホールや南那須図書館展示ホールに展示します。その間、来庁者及び来館者の投票で審査を行い、上位入賞者には地元特産品などを贈呈します。

※展示期間などそのほかの詳細は下記までお問い合わせください。

■問合せ ひまわり写真コンテスト事務局(農政課内)

☎0287-88-7117

〒321-0595 那須烏山市大金240



夏休みのおやつを作ろう！親子料理教室

料理をすることとおして、地産地消や食育について学んでもら



親子でおやつづくりに挑戦。

おうと、7月15日(土)、那須烏山市農村生活研究グループ(木下智恵子会長)による親子料理教室が南那須公民館で開かれました。

当日は、親子3組9人が参加し、同グループのメンバーが夏休みに親子で手軽に作れるおやつとして、「ねぎ味噌まんじゅう」や「かぼちゃサラダ」、「夏野菜ピザ」の作り方を伝授しました。できあがった料理を食べた参加者たちからは「おいしい」という言葉とたくさん笑顔があふれていました。

伊藤愛純さん(田野倉)は「ピザの生地を伸ばすのが大変だったけれど、夏野菜たっぷりのピザを作

那須南病院で七夕の会

尺八が奏でる音色楽しむ

那須南病院では、入院生活を送る人々に楽しい時間を提供しようと、南那須地域医療を守る会と協力し、七夕、敬老の日、クリスマスに合わせて年に3回イベントを開いています。

7月5日(水)には、「七夕の会」が行われ、那須烏山尺八愛好会による尺八の演奏が披露されました。演奏会場には看護師などを含め約

40人が集まり、「七夕さま」や「おぼる月夜」、「ふるさと」など聴き慣れた音楽に合わせて手拍子をしたり口ずさんだりする様子が見られました。

同愛好会の小堀重光会長は、「日々、リハビリなどに励む患者さんが私たちの演奏で笑顔になってもらえれば嬉しい」と話していました。



演奏をする尺八愛好会の皆さん。

れど、夏野菜たっぷりのピザを作られて楽しかった。また作りたい」と話していました。

シリーズ 市の文化財 第76回

市指定天然記念物

クモノスシダ



クモノスシダは、チャセンシダ科に属する常緑の着生シダ植物で、北海道から九州にかけて自生し、特に石灰岩地帯の環境を好みます。細長い葉が四方に伸び、葉先の不定芽で付着する様子が、蜘蛛が網を張る姿に似ていることから、この和名が付けられています。

本市では、八溝山地内の崖や岩場などに自生が確認されていますが、環境の変化に弱く分布範囲や個体数も減少していることから、今後も保護を図っていく必要があります。

※不定芽…茎の先端や節以外の部分から不規則に出る芽のこと。

(株)ケン・コーポレーション

500万円を本市に寄附

本市で太陽光発電事業などに取り組む(株)ケン・コーポレーション(佐藤繁代表取締役社長)が、6月30日(金)、ふるさと応援寄附金として本市に500万円を寄附しました。昨年の寄附金と合わせると1千万円となります。

当日、大谷範雄市長を訪れた同社常務執行役員の上谷智雄さんは、「地域に根差した事業を展開し、貢献していきたい」と話していました。



大谷市長に目録を手渡す上谷常務執行役員。

けんこうコラム⑤ なんぼでも★Let's 健活

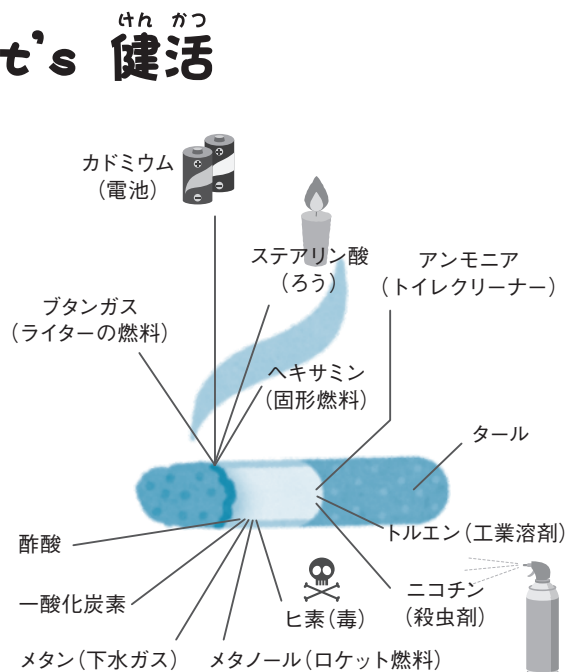
今回のテーマは「たばこ」です。右図のように、たばこには多くの有害物質が含まれています。特に、ニコチン、一酸化炭素、タールは三大有害物質と言われ殺虫剤などの用途にも使われています。

市は、公民館などの公共施設で施設内禁煙を推奨し、禁煙の掲示をしました。このように様々な受動喫煙対策が始まっていますが、皆さんは何か取り組みをしていますか？2020年の東京オリンピックを目標に、禁煙の輪を広げていきたいですね。

健康相談で「換気扇の下でたばこを吸っている」と話す人が多くいます。しかし、換気扇の下で喫煙しても、100%の換気は行えません。また、空気清浄機は、たばこの臭いを取り除いても、有害物質の除去に効果はありません。

たばこの煙は、目に見えない程薄くなっても、有害物質は衣類等に付着し、人の健康に影響を与えます。喫煙後は、喫煙者の息から有害物質が出ていることを、ご存じでしたか？！

そして、最近話題の電子たばこ。副流煙や有害物質が一般のたばこより少なく、火を使わないと流行している一方、まだ不明な部分も多くあります。しかし、「たばこ」であることに変わりはないのでニコチンなどの有害物質



は含まれています。

大切な自分と周りの人を守るために、たばこについて考えてみませんか。きっと「禁煙して良かった」と思う日はあっても、「喫煙していて良かった」と思う日はないと思いますよ。

～健康増進グループ 保健師より～

消費者コラム⑤

消費者ほっと❤らいふナビ

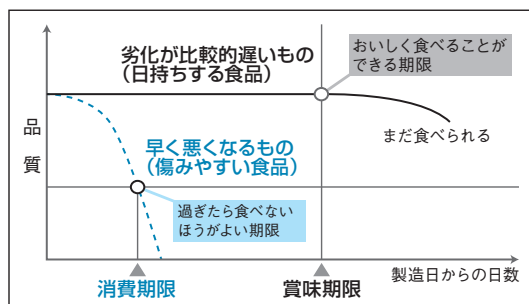
もったいない！食品ロス

食べられるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」と呼んでいて、日本の一人当たりの食品ロス量を試算すると「お茶碗約1杯分(約136g)の食べ物」が毎日捨てられている計算となります。

一人ひとりが「もったいない！」を意識して、日々の暮らしの中から食品ロスを減らしていきましょう。

【賞味期限】を正しく理解する

消費期限は「食べても安全な期限」、賞味期限は「おいしく食べることができる期限」です。賞味期限は過ぎてもすぐに廃棄せずに自分で食べられるかどうかを判断することも大切です。



消費期限と賞味期限のイメージ 出典：消費者庁ホームページ

…とは言え、夏場は食品の痛みが特に気になる季節。賞味期限が切れた食品を、自分の判断で食べることに不安がありますよね。そこで、この時期だからこそ！期限切れ食品を出さないためにできることを紹介します。

【適量の買い物をする工夫】

①事前に冷蔵庫内などをチェック②必要な食材をこまめに購入(買い過ぎた時は冷凍保存も活用)③手前に陳列されている食品を選ぶ(お店の食品ロスを減らす重要な行動です！)

【食材を使い切る工夫】

①残っている食材から使用②野菜や果物の皮は厚むきしない(生ゴミは減って栄養はUP♪)③食材を上手に食べ切る(料理レシピサイトのクックパッド「消費者庁のキッチン」をチェック☆)

那須烏山市消費生活センター(烏山庁舎1階、商工観光課内)

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン☎188(局番なし)」へご相談ください。

志鳥倶楽部
田んぼの学校

虫の不思議なチカラ学ぶ



虫を観察する子どもたち。

7月1日(土)、志鳥倶楽部「滝口清栄会長」による田んぼの学校「田んぼまわり、虫とり大作戦」が開かれました。

当日はあいにくの天候で、虫とりは中止となりましたが、志鳥上公民館に会場を移し、活動が行われました。子どもたちは、とちぎ昆虫愛好会会長の高橋滋さんを講師に、虫の標本を使つての講話を聞いたり、同倶楽部の会員が捕まえてきた虫とふれあったりするなどして、虫の生

態や不思議なチカラを学びました。また、最後には、ほくほくの新じゃがとトウモロコシが振舞われ、おかわりが続出するほど好評を博しました。

親子で参加した相吉澤瑛大さん(志鳥)は「実際に虫を触ることができてとても楽しかった」と笑顔で話していました。

同倶楽部は今後、8月に水生昆虫教室、10月に古代米の稲刈り、12月に収穫感謝祭を行う予定です。

高校生がスポーツで大活躍 夏の大会ぞくぞくと

田島さん砲丸投げなど 3種目でインターハイへ

宇都宮文星芸術大学付属高校2年の田島駿さん(中山)が、6月17日(土)に行われた「北関東地区予選大会」の男子砲丸投げで優勝し、7月28日(金)から8月2日(水)にかけて山形県NDソフトスタジアム山形で開かれた「秩父宮賜杯第70回全国高等学校陸上

競技対抗選手権大会(インターハイ)に、砲丸、ハンマー、円盤投げの3種目に出場しました。

全国大会では、3種目とも惜しくも予選落ちという結果に。田島さんは、「自分のベストの力を出すことはできたけれど、他選手との力の差を感じた。これから練習を積み、1年後のインターハイでリベンジしたい」と来年への抱負を語ってくれました。

出場し、大橋さんは74kg級で3位、高森さんは120kg級で2位に。2人が全国大会へと出場するのは、初めてとなります。

大会を前に、大橋さんは「精一杯の力を出して優勝を狙ってきたい」「高森さんは「大会前の合宿で技を磨き、大会では良い結果が残せるよう頑張りたい」と意気込んでいました。

八ヶ代の吉葉さん宅で 2千個のパッションフルーツ実る

7月から8月にかけて、八ヶ代の吉葉里子さんが栽培するパッションフルーツ約2千個が収穫期を迎えました。

吉葉さん宅では、約10年前に庭先で日よけに緑のカートンとしてパッションフルーツを栽培。それをきっかけに、現在では、2棟のハウスで栽培するほどの規模となりました。

周辺地域での栽培が珍しいことや、3年前から野菜などを直売する「農産物こぶしっ子」へ出荷していることもあり、最近で



パッションフルーツを栽培する吉葉さん。

は問い合わせがあるほど人気に。吉葉さんは「最後の楽しみとして頑張つて育てます」と笑顔をみせていました。



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計グループ ☎0287-83-1112

大桶の八雲神社の夏祭り 芸能大会やみこし盛り上がる

永禄3年(1560)に烏山城主^{なすすけたね}那須資胤が、疫病
防除や五穀豊稔^{じょう}などを祈願し、牛頭天王を当時の
大桶村から烏山(酒主村)の中心部に勧請したと言
われていますが、そのもととなる大桶の八雲神社
の夏祭りが7月15日(土)、16日(日)に行われ、地域住
民でにぎわいました。

15日の前夜祭では、大桶下公民館で歌や踊りの
ステージが繰り広げられ、翌日の天王祭では、約12
時間かけてみこしが大桶地内を練り歩きました。



大桶地内をみこしが練り歩く。

しらはり姿の若衆が 藤田をみこし担ぎ歩く

7月8日(土)、藤田八坂神社の天王祭が行われ、旧
南那須地区随一の大きさを誇る「みこし」がしらはり
姿の若衆によって担ぎ出されました。

100年以上続くこの行事。人手不足などから一
度は途絶えたものの、約50年前に地元の青年団な
どによって復活しました。

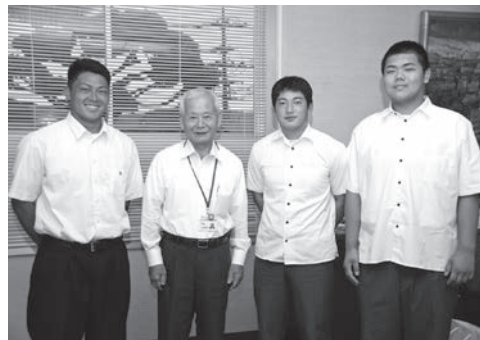
当日は、「しらはり」といって白い衣装をまとった
若衆約30人が地区内を約5時間かけてみこしを巡
行。子どもみこしも繰り出し、「わっしょい」という威
勢の良い掛け声で祭りを盛り上げました。また、沿
道には、みこしを一目見ようと地域住民が見物に訪
れ、祭りの熱気と活気を味わいました。



しらはり姿でみこしを担ぐ若衆たち。

地域の伝統的なイベント盛んに。

(写真)左から、田島さん、大谷
市長、大橋さん、高森さん。



大橋さん・高森さんが レスリング全国大会出場

馬頭高校3年の大橋輝さん(宮
原)と、同校1年の高森勇斗さん
(中山)が、8月16日(水)から19日(土)
に大阪府堺市金岡公園体育館で
行われる「第33回全国高校生グ
レコローマンスタイルレスリン
グ選手権」に出場します。
6月2日(金)から4日(日)にかけて
予選として行われた「第63回関
東高等学校レスリング大会」に

小堀重光さん 少年補導功労者表彰で銀章

警察庁や全国少年警察ボラン
ティア協会による少年補導功労

者表彰の伝達が6月23日(金)、栃
木県警察本部で行われ、那須烏
山警察署の少年指導委員



銀章を受章した小堀さん。

会会長の小堀重光さん
(中央2丁目)が銀章を受章
しました。
小堀さんは、平成3年
から現在にかけて、少年
の非行防止や健全育成活
動に尽力。活動としては、
月1回の補導活動や山あ

げ祭などイベント時の啓もう活
動、非行防止に関するチラシの
配布など地域に根付いた活動
を行っています。
章を受けて小堀さんは、「これ
からも子どもたちに対するあい
さつや声掛けはもちろん、趣
味のお囃子を通じて子どもたち
と関わり、非行防止や健全育成
につなげていきたい」と話して
いました。

おめでとう



赤ちゃん名 (保護者) 住所

中山 湊介 (信之・真紀) 旭上丁目
河井 和奏 (直樹・美幸) 下川井
零 涼介 (伸裕・有美) 曲田
立花 萩華 (直人・由妃) 野上
高野 蓮生 (雅史・成美) 興野
大笹 音弘 (弘人・朱香) 旭上丁目
高野 真佑里 (達也・夕歌) 大桶
須藤 駿 (貴則・舞) 鴻野山
根本 陽彩 (英樹・優佳) 横枕
※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果



●平成29年度ファミリー記念混合ソフトボール大会 (6月5日(月)～9日(金)、緑地運動公園)
▽優勝：藤田▽準優勝：荒川南▽第3位：三箇、八ヶ代
●第37回栃木県スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会 (6月17日(土)、河内体育館)
男子▽第3位：烏山リトルデイツパーズ
●第12回那須烏山市春季市民ソフト大会 (6月18日(日)、緑地運動公園)
「中学生男子」▽優勝：滝口夏叶・高雄勇斗 (南那須中)▽準優勝：山下陽輝・小林祥真 (南那須中)▽第3位：佐藤優河・高徳涼馬 (南那須中)、吉田陽・山口浩 (烏山中)
「中学生女子」▽優勝：永島千豊・碓氷清華 (南那須中)▽準優勝：綱川穂乃花・大森紗亜弥 (南那須中)▽第3位：仲山菜々・若林真生 (烏山中)、神山舞・各和杏珠 (烏山中)「一般男子」▽優勝：大

野雅幸・大野純輝▽準優勝：平野寛和・荒井由裕▽第3位：田中毅・川面正男「一般女子」▽優勝：青木とみ子・平野幸子▽準優勝：矢口文子・古謝佳世子▽第3位：大崎美佐子・佐藤万里子「シニア男子」▽優勝：平野元・福島トミ▽準優勝：鈴木傑・笠井修▽第3位：大山賢一・大金正
●第7回那須烏山市実年ソフトボール交流大会 (6月19日(月)～23日(金)、緑地運動公園、烏山運動公園)
▽優勝：K&K▽準優勝：県道222▽第3位：チーム荒川、烏山ソフトボール愛好会
●第12回南那須地区柔道大会 (6月25日(日)、那須烏山市武道館)
「小学生低学年の部」▽優勝：古口哲平 (南那須柔道スポーツ少年団)▽準優勝：樋山璃来 (習志館大橋道場)▽第3位：谷田風生 (南那須柔道スポーツ少年団)「小学生高学年の部」▽優勝：木村南風 (習志館大橋道場)▽準優勝：高野由奈 (習志館大橋道場)▽第3位：塩田優介 (南那須柔道スポーツ少年団)「中学生の部」▽優勝：鈴木寿幸 (南那須柔道スポーツ少年団)▽準優勝：加藤誠大 (南那須柔道スポーツ少年団)
●第36回栃木県ジュニアオープン空手道選手権大会 (7月2日(日)、鹿沼総合体育館、フォレストアリーナ)
「小学5年生男子の部」▽第3位：平野真広 (南那須空手道スポーツ少年団)「小学3年男子の部」▽優勝：五十嵐大夢 (白聖会空手道スポーツ少年団)「小学3～4年女子の部」▽準優勝：荒井亜美 (白聖会空手道スポーツ少年団)「小学1年男子の部」▽第3位：齋藤陽 (白聖会空手道スポーツ少年団)
●第14回那須烏山支部G・G愛好会グラ



ウインド・ゴルフ大会 (6月15日(木)、烏山野球場)
「男子」▽優勝：小泉堅寿 (滝田本郷)▽準優勝：大森明 (滝田)▽第3位：萩原勲 (横枕)
「女子」▽優勝：大貫美佐子 (大沢)▽準優勝：高久サト子 (滝田)▽第3位：滝田友子 (興野)
●第12回市長杯剣道大会 (6月17日(土)、那須烏山市武道館)
「団体の部」「小学低学年の部」▽優勝：宏倫剣道スポーツ少年団「中学生の部」▽優勝：南那須中学校2班
「個人の部」「小学2年生以下の部」▽優勝：土居明夫 (宏倫)▽準優勝：笠井雄斗 (烏山)▽第3位：笹沼成美 (宏倫)、新井琢仁 (烏山)「小学3・4年生の部」▽優勝：小西勇太 (宏倫)▽準優勝：小森咲芽 (烏山)▽第3位：高野大翔 (烏山)、沖村昂輝 (宏倫)「小学5・6年生の部」▽優勝：鈴木佳実 (宏倫)▽準優勝：沖村愛希 (宏倫)▽第3位：鈴木悟和 (宏倫)、高野裕翔 (烏山)「中学生男子の部」▽優勝：滝口恭弘 (南那須中)▽準優勝：人見匠真 (南那須中)▽第3位：小池智也 (南那須中)「中学生女子の部」▽優勝：高橋幸奈 (烏山中)

ふるさと応援寄附金

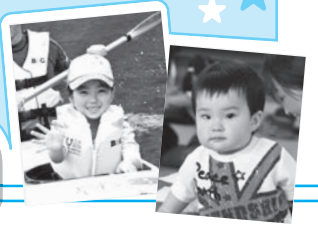
宇梶和雄様 (千葉県千葉市)、加賀美久様 (神奈川県横浜)、金野義浩様 (東京都大田区)、金子隆浩様 (下野市)、廣川晃司様 (愛知県名古屋)、から1万円、新沢清様 (東京都目黒区)から5万円、原田明弘様 (東京都大田区)から10万円、匿名希望者様24人から24万円が本市に寄附されました。

編集後記



○今年の山あげ祭も暑い3日間となりました。終わった途端、夏終わった？みたいな涼しい日が続きました(笑)
○祭りでは、カメラの以外に急な雨に備えての雨具や脚立が必須。結構な重さになりますが、慣れもあつてかそこまで重さを感じなくなってきたよう？それに比例して二の腕もたくましくなってきたよう？
○女子(ん？)いくつまでが女子(ん？)にとって二の腕の太さは悩みの一つ。しかしある日、元広報力メラマンの大先輩から「二の腕の太さもメラマンは必須だからね」と救いの言葉が！つまり私は、それも兼ね備えることができたというところでこの現実も前向きに受け止めることにしました！
○まあ、こんなこともあったり、祭り初日に「日焼け止めアレルギー」を発症し、日焼け止めが塗れないという事件もあつたりしましたが、無事、取材を終えることができました！
○：どなたか私に合う日焼け止めを紹介してください(笑)

Information



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 鳥山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

2017.7.1現在
 ()対前月比

人口 26,254(-41)

男 12,975 女 13,279
 出生 12 死亡 41
 転入 33 転出 45

世帯数 9,387

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

★一般図書★

『成功法則大全』 高田 晋一
 『新貧乏物語』 中日新聞社会部
 『いびき女子、卒業!』 大場 俊彦
 『なんとめでたいご臨終』 小笠原 文雄
 『風と共にゆとりぬ』 朝井 リョウ
 『美女は飽きない』 林 真理子
 『薫風ただなか』 あさの あつこ
 『政略結婚』 高殿 円
 『深海の寓話』 森村 誠一

★児童図書★

『へんしんテスト』 あきやま ただし
 『オニのきもだめし』 岡田 よしたか
 『いちにちじごく』 ふくべ あきひろ
 『夏がきた』 羽尻 利門
 『いえすみねずみ』 ジョン バーニング
 『ダンボールで作る楽しい自販機&ガチャ』 大野 萌菜美

『小学校がなくなる!』 麻生 かづこ
 『ラストサバイバル』 大久保 開
 『スイーツ駅伝』 二宮 由紀子

◆DVD◆
 『オケ老人』 細川 徹監督
 『湯を沸かすほどの熱い愛』 中野 量太監督
 『超高速!参勤交代リターンズ』 本木 克英監督
 『ビューティー・インサイド』 ペク 監督
 『ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅』 デイビッド・イエーツ監督
 『おはよう!コケッコーさん 1』 猪原 英史監督
 『魔法使いプリキュア! 奇跡の変身! キュアモフルン!』 田中 裕太監督
 『ペット』 クリス・ルノー 監督
 『鬼平犯科帳 スペシャル 盗賊婚礼』 石原 興監督

文芸コーナー

俳句

齋藤 穂 選

もろこしの炊込ごはん月命日

平澤 房子(金井)

万緑に浸かり長居の足湯かな

伊藤 博志(田野倉)

どくだみの秘めたる強さ白く咲く

古内 晴代(金井)

五月雨や気ままな暮し駒の音

塩坂美枝子(南大和)

川柳

篠崎 酔月 選

古里の風が誘った母の歌

小堀 翠泉(中央)

蔓草は植えもしないが大威張り

久郷 牛歩(高瀬)

おのずから鼻唄もでる楽しい日

南 美保子(福岡)

忖度と嘘が世間を騒がせる

杉山幸栄子(ハケ代)

短歌

福澤 悦子 選

雲に乗り何処^{いず}ともなく去る鬼女はもうすぐ二歳
 のユキくんのママ 柳 つしま(中央)

曾孫たちの写真に加わる末孫の婚礼写真に出
 窓華やぐ 吉澤 紅月(南)

朝母のドラマに泣いたり笑ったり貧困時代に
 思いを致す 川俣登志子(旭)

待望の孫の婚儀に出られぬが「ビデオ見せる」
 に嬉しさあふれる 川手 トヨ(金井)

作品集募集

毎月10日までに、総合政策課広報統計グループ
 (〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
 1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

■おわびと訂正

広報なすからすやま7月号の記事の中で誤りがありました。次のとおり訂正しおわび申し上げます。

・6ページ「ごみの分別マップ」の中で「生ごみの水をよくきくと原料にながります」の正しくは「生ごみの水をよくきくと減量につながります」です。

・16ページ「剣道・県大会で3位入賞」の中で「滝口泰弘」の正しくは「滝口恭弘」です。

・24ページ「鳥山高校ボランティアサークル」の中で「宮崎県石巻市」の正しくは「宮城県石巻市」です。

まかせて安心!!

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険: GKくるま・自賠責・GKすまい・地震
 ◇生命保険: 新総合収入保障・新医療保険・三大疾病
 ◆お問合せ: 〒321-0526 那須烏山市田野倉383

☎0287-88-9870

FAX: 0287-88-0234

シリーズ

鳥山高校ってどんなところ！部活動を知ろう編⑰

まちづくり研究会

広報「なすからすやま」では、鳥山高校の部活動等で頑張る生徒を紹介します！



まちづくり研究会は、まちづくりについて高校生の視点から新たな提言をしようと平成25年に誕生しました。

現在11人が所属し、県内5大学とNPO法人などで構成される「那須鳥山市まちづくり研究会」に加わり、近代化遺産バスターや鳥山線鉄道唱歌の研究・制作など行っているほか、市の事業に参加し、高根沢高校の生徒と地域資源の創出に向けて実際にまちに繰り出すなど活動を展開しています。

また、山あげ祭開催時には、英語・中国語と日本語が書かれた「指さし会話シート」を作成したり、案内所での案内を行うなどの活動を行いました。



3年(南1丁目)
会長
阿相 瑠華さん

活動をとおして、ずっと地元に住んでいても知らないことがたくさんあることに気付きました。これからも積極的に外へ出て地域の人とコミュニケーションをとり、高校生ができるまちづくりをしていきたいです。

那須鳥山ジオパーク構想だより④

那須鳥山きっての景勝地
龍門の滝



皆さんご存知の龍門の滝「ジオパーク」という点で紹介すると次のようになります。

那須鳥山地域では、上流に平坦な地形が広がりつつも、下流は狭くて深い谷が形成される滝が多数存在しています。その中の一つである龍門の滝は、表層地質の固結度の差異（地層の浸食に対する抵抗性の違い）により生じた滝と考えられており、すぐ下流には砂岩・頁岩からなる中生代の地層が分布しています。

龍が住むという民話に基づいた観光地としての一面のほかに、

「見どころ紹介」
こういった面も龍門の滝は持っているのです。

なにはともあれ龍門の滝はこの季節にぴったりの景勝地です。水量によっては中州に渡ることで、マイナスイオンをたっぷりと感ずることが出来ます。

本市には他にも滝が多数あります。田野倉の栄出の滝や滝田の大滝など、平地にも関わらず滝が多いことも見どころの一つです。この夏、滝めぐりをして「ジオ」の不思議に触れてみてはいかがでしょうか。

